



「自分探し」は意味が無い。人生は「たし算」。

私は「成長はたし算」「人はたし算」「人生はたし算」という話を様々な場所でしています。特に進路講演会やキャリア教育の話をするときなどです。私はみなさんに、どんな時も「たし算するぞ!」というマインドをもってほしいと常々思っています。

人はそもそも2重人格どころか7、8重人格と言われていています。時々人は「本当の自分はどこにいるんだろう」「いつもどこかウソをついているような気がする」と悩んだりします。でも、一つの「本当の自分」は見つからないはず。仲の良い友人と楽しく話しているあなたも、緊張して初めての人とうまく話せないあなたもあなたなのです。

みなさんはたくさんのコミュニティに所属しています。コミュニティとは「集まり」のことです。例えば、家族というコミュニティ、地域というコミュニティ、学校、クラス、部活、習い事、係の班、仲良しグループ……。そしてみなさんは、コミュニティごとに違った役割をもち、違った顔をもっていると思います。家族の中では甘えん坊だったり、部活ではキャプテンだったり、クラスでは盛り上げ役だったり、習い事ではおとなしかったり。仮にあなたに10の顔があって、10重人格だったりすれば、そのすべてがあなたなのです。人は“たし算”なのです。

この“たし算”はどんどん自分を成長させてくれます。誰でもいつでも「新しい自分」をつくることのできるということです。特に新しい人との出会いには、必ず自分の新しい面が顔を出します。それも同質の人より異質な人の方がそれは出やすかったりします。ちょっと気が合わない人と付き合うと“たし算”は結構大きくなります(笑)。成長は“たし算”なのです。

この話は、「キャリア教育」にも通じる話です。今のキャリア教育は、様々なヒトやモノやコトとの出会いを通してみなさんの可能性を広げていくことが大切だと言われていています。「キャリア教育」でよく「自分探し」という言葉を聞くと、私は「自分探し」をすることには意味がないと思っています。どんなコミュニティに所属するのか、どんな人と関わり合うのか、どんなことに取り組むのか、そうした様々な関係性の中でどんどん“たし算”が行われ、自分がつくりあげられていくと思っています。キャリア教育も“たし算”なのです。

みなさんに2つのアドバイスをします。

一つ目は、この“たし算”が行われやすくするためには**好かれる人(人たらし)**であることが有利になります。この人とつながりたいと思われるからです。

それともう一つ、**複数のコミュニティに所属すること**がいいと思います。コミュニティが一つだけだと、そのコミュニティの価値観が「絶対」のものだと思ってしまうからです。世の中に「絶対の価値観」など存在しません。もしテストの偏差値だけをモノサシにしているコミュニティだと、テストができること以外認められにくいということがあります。テストが悪かったら自分はダメな人と思うしかないのです。だからみなさんは複数のコミュニティに所属して“たし算”をし、一つの価値観に縛られず、自分でさまざまなことを見つけることができたらいと思います。

仲間をつくり、コミュニティを更新し、人とのつながりを大切にして、どんどん“たし算”をして行動のレパートリーを増やしてください。

(学校長 重枝 一郎)